

会長あいさつ

▼本日は、東京小金井ロータリークラブ創立60周年記念式典に、大変お忙しい中、各地各方面より多くの皆様にお集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。また、国際ロータリー第2750地区ガバナー・富澤為一様をはじめとするロータリアンの皆様方、小金井市長白井亨様をはじめ地域のご来賓の皆様方におかれましては、常日頃より、当クラブにひとかたならぬご厚情とご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

▼東京小金井ロータリークラブは、1963年2月12日、東京府中ロータリークラブをスポンサークラブとして誕生いたしました。今日まで60年の長きにわたりお支えをいただきました親クラブの皆様、この場をお借り致しまして感謝申し上げますと共に、これからも引き続きご指導を賜りたくお願い申し上げます。

▼また、当クラブがスポンサーとなり設立されたクラブには、東京国分寺RC、東京小平RC、東京小金井さくらRCがあります。そして、友好・姉妹クラブは、台中東南RC、ソウルジャンチュンRC、原町RCがあり、その友情の輪は、国内外に広がっております。

▼私たちメンバーは、初代会長である村越一雄さんをはじめ諸先輩方の創始からの思いをつなぎながら、地域に寄り添い、信頼されるクラブとして、新しい輪をつくり始めています。

当クラブの奉仕事業は、交通安全事業の取り組みから始まり、野川へ

の桜の寄贈、ベトナムの小学校の校舎建設、東日本大震災での福島
の支援、友好都市・三宅島への桜の寄贈、武蔵小金井駅のコンコースに
ある「うるう秒」表示のデジタル時計、そして継続的に、ポリオ根絶
など多様な奉仕事業に取り組んでまいりました。

今、若い会員が次々と入会し、公立小学校への図書寄贈事業「ロータ
リー文庫」や「ありがとうノート」、そして子ども食堂支援など、「新
しい輪をつくる」の標語の下、創造的な奉仕プロジェクトが実現さ
れております。

三年後には、当クラブ初のガバナーとして、田中靖会員を送り出すこ
とになっていきます。

こうしたことも新しいきっかけとしながら、次の60年へ思いを変
えることなく持続可能な人間社会によりいっそう貢献していけるよ
うに、東京小金井ロータリークラブは、時代の流れを見据え、寄り添
い、さらなる輪をつくり、重ねてまいります。本日ご来会の皆様方
は、今後も、当クラブの奉仕活動を温かく見守りいただくとともに、
これまで同様、ご指導とご鞭撻をいただければ有り難く存じます。

▼結びに、本日ご来会いただきましたすべての皆様のご多幸、ご健勝
を、心からご祈念申し上げます、会長挨拶にかえさせていただきます。
共にこの国を明るく元気にして参りましょう。

本日は、誠にありがとうございました。

ドゥーシャー、カムサハムニダ、サンキュウソーマツチ